

# I 令和2年度の市政の運営方針

## 1 これまでの取り組み

本市の住みごこちのよさをより確かなものにしていくため、可児市第四次総合計画後期基本計画に実現化する姿「住みごこち一番・可児 若い世代が住みたいと感じる魅力あるまちの創造」を位置付け、その実現に向け、「重点方針（4つの柱）・重点的な取り組み」を設定し、各施策に取り組んできました。

この重点方針等のほか、総合戦略の基本目標への貢献度により重点事業を定め、重点事業計画を策定し、毎年ローリングを行い、施策を進めてきました。

## 2 市政運営の方向性

令和2年度は、従来の総合計画に替わる新たな仕組みとして策定する（仮称）可児市政経営計画（計画期間：令和2年度～令和5年度）に引き続き位置付ける「住みごこち一番・可児」の実現に向け、「安心なまち」「元気なまち」「楽しいまち」を推進するため、長期的な視点を持ちつつ、喫緊の課題にも対応した4つの重点方針とそれに基づく施策の選択と集中を行い、取り組みを進めます。

## 3 （仮称）可児市政経営計画（案）

実現する姿

「住みごこち一番・可児 ～安心、元気、楽しいまち～ の推進」

重点方針（4つの柱）と重点的な取り組み

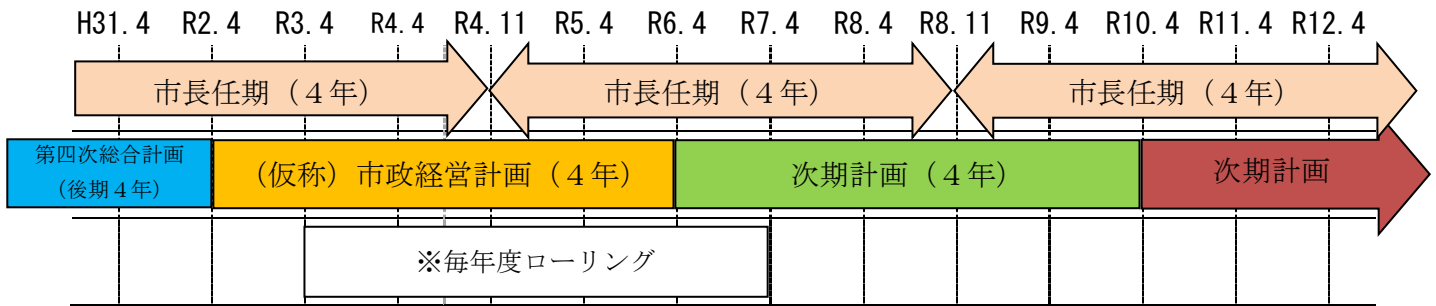
- (1) 高齢者の安気づくり
- (2) 子育て世代の安心づくり
- (3) 地域・経済の元気づくり 【最重点方針】

### 【最重点施策】

- ・産業振興：企業誘致等の将来の収入に繋がる取り組み
- ・観光振興：大河ドラマを契機とした観光振興、市内外への魅力発信

- (4) まちの安全づくり

## 計画の期間設定



### 4 (仮称) 市政経営計画と令和2年度の当初予算編成

#### (1) 「重点(政策的)事業」候補の選定と財政フレーム推計の作成

- 令和元年度重点事業に位置付けられている事業と、令和2年度以降新たに重点事業への位置づけを要望する事業（既存予算事業含む）について、平成31年2月に提出の調書を基に「重点(政策的)事業」候補を選定するとともに、財政フレーム推計（平成31年3月時点）を作成しました。

#### (2) 「重点(政策的)事業」の検討、決定（～9月）

- 調書を基に作成した重点(政策的)事業候補案と財政フレーム推計を議会に提出し、議会提案事業と合わせて議会意見の聴取を行いました。
- 議会意見も踏まえ、「(仮称) 市政経営計画(案)」に基づいて、この4年間で取り組むべき「(仮称) 市政経営計画に位置付ける重点事業(案)」を作成しました。
- 「(仮称) 市政経営計画に位置付ける重点事業(案)」を基に改めて提出された調書により、必要に応じて各課との調整を行い、重点事業を決定します。

#### (3) 予算の編成と市政経営計画の策定（1～3月）

- 令和2年度当初予算を編成し、予算案を公表するとともに、令和2年度からの4年間で取り組む重点事業をとりまとめた(仮称) 市政経営計画を策定します。

## Ⅱ 令和2年度当初予算編成の基本方針

### 1 予算編成の前提となる財政状況

本市の財政状況は、類似団体との比較や財政健全化比率等から見ると、健全な状態を維持していると言われてきましたが、今後市税収入の増加が見込めないなか、社会保障関係経費は毎年増え続け、大型事業の推進による公債費増など、いよいよ予断を許さない時期にさしかかってきました。

5年前の平成25年度決算と平成30年度決算を普通会計ベースで比較してみると、

#### 【歳入】

市税収入は9億4,556万円増額、地方消費税交付金は、消費税増税（5→8%）に係る社会保障財源交付分として、9億7,033万円増額しています。

一方、地方交付税は7億3,703万円減額しています。

#### 【歳出】

節約困難な義務的経費、人件費が2億6,312万円、扶助費が10億1,563万円、公債費が1億5,943万円、合計14億3,818万円増額しています。

さらに、委託料などの物件費が7億4,583万円増額しています。

一方、普通建設事業費が5億1,476万円減額しています。

このように歳入増加に比較して歳出増加が顕著になっており、地方債の借り入れや基金の取り崩し等により財政運営を行っている状況であります。

経常収支比率は、5年前の88.5%から5.1ポイント増の93.6%であり、財政運営の硬直化が進んでいます。類似団体91.6%と比較しても高いことが分かります。

さらに、地方債残高が5年前に比べ、47億797万円増額しており、その返済額である公債費が、今後さらに増額していく見込みです。

今年度当初予算では、財政調整基金など基金13億9,190万円の繰入れを計上しており、基金を取り崩さないと予算が組めない状況でしたが、令和2年度においても、文化創造センター大規模改修、蘇南中学校大規模改造、土田渡多目的広場造成といった事業に多くの費用を要し、引き続き厳しい状況となる見込みです。

このような厳しい環境のなかであっても、「住みごころ一番・可児」を市民が実感できる重点施策の推進と市民目線による効果的・効率的な行財政運営を行うためには、職員一人ひとりが財政状況をしっかり認識し、事務事業の効果検証による廃止・見直しを進め、市民サービスの実施者として、責任ある予算要求が強く求められます。

## 2 予算編成の基本的な考え方

現在策定中の（仮称）市政経営計画（案）において、重点事業の位置付けを行っていますが、現時点で令和2年度は約17億円の財源不足の見込みが生じています。

例年の予算編成とは異なり、すでに重点事業の精査が進んでいる状況での財源不足見込みであるため、現時点で（仮称）市政経営計画（案）に事業が位置付けされた重点事業であっても、事業縮小・延伸等が必要となります。

来年度予算については、（仮称）市政経営計画（案）で示した事業費または前年度予算額以下を原則、遵守するとともに、全ての事業について改めて精査、削減を行い、事業費を積算してください。精査されていないことが明らかな場合は、予算編成過程において今後の改善を求めていきます。

### （1）重点事業

「住みごこち一番・可児」の実現に向け、「安心なまち」、「元気なまち」、「楽しいまち」を市民が実感できるよう、4つの重点方針である①高齢者の安気づくり、②子育て世代の安心づくり、③地域・経済の元気づくり、④まちの安全づくりに基づき、推進する施策への予算の重点配分を行うとともに、「（仮称）市政経営計画に位置付ける重点事業（案）」で示す令和2年度から4年間の事業計画を基に予算査定を行います。

### （2）重点事業以外の予算事業

- ①重点事業以外の予算事業については、原則、前年度予算額以下とします。
- ②事業の目的やねらい、最終形のイメージを明確にしたうえで、0ベースで原点に立ち返って事業の効果を検証してください。
- ③効果が薄い事業については廃止し、必要とされる業務への見直しをすることで、事業目的の効果的な達成を検討してください。
- ④事業内容の選定にあたっては、係、課、部内で協議し、議論を尽くしてください。

## 3 令和2年度予算編成における取り組み

### （1）点検結果を踏まえた予算要求【重点取り組み事項】

- ①平成30年度重点事業点検報告書の結果分析（問題点・改善点）及び今後の取り組みポイント、また本年度の事業状況の効果検証を踏まえ、財政フレーム基礎調書兼重点事業調書を作成、事業費の積算を行ってください。
- ②事業の効果検証、精査なき積算は、予算編成過程の中で改善を求めます。

## (2) 財政フレームをベースとした予算要求【重点取り組み事項】

- ①提出された財政フレーム基礎調書兼重点事業調書に基づき、企画部で事業の精査を行った上で、令和2年度財政フレーム策定します。
- ②令和2年度当初予算要求時（10月）には、各所属で更なる事業内容の精査を行い、原則、財政フレームをベースとした要求を徹底します。

## (3) 民間活力と市民力を活かす

- ①民間事業者任せられる業務については、積極的にその内容を検討し、指定管理者制度への移行や民間委託等を進め、将来を見据えて、職員が市民サービス向上のために、より創造的な業務に取り組むことができる環境を整えることを目指してください。
- ②NPOや市民団体、ボランティア等への委託等を通じ、市民力が活かされるよう、共助の仕組みを一層整えてください。

## (4) 公共施設等マネジメントと連動した予算要求

- ①施設の建設、改修（設計委託を含む）に係る予算要求については、総合政策課に提出した施設改修要望調書の案件のみとし、その中で戦略委員会及び推進会議で承認された事業や、施設住宅課による緊急度や実施の妥当性等が確認された事業とします。
- ②予算規模の大きい建設事業（大規模改修事業を含む）については、予算要求の段階で実施設計が完了していることを原則とします。

## (5) 歳入の確保

- ①国や県の補助制度の動向を十分注視し、活用可能な制度を適切に予算に反映させてください。ただし、補助制度があっても、人的負担や後年度の財政への影響等を十分に認識したうえで活用を検討してください。
- ②税料等の滞納額の縮減を図る方策を着実に進めるとともに、未利用財産の売却や施設の複合的な活用などに努めてください。
- ③ふるさと応援寄附金や広告収入などの外部資金の獲得にさらに積極的に取り組んでください。

## (6) 予算要求における積算精度の向上

- ①前年度までの決算状況を分析し、積算方法等の妥当性を十分に検討してください。
- ②参考見積りを徴収するなど、積算根拠を明らかにしてください。
- ③予算の流用が非常に多くなっています。前年度の流用の状況を検証し、その結果を予算要求に反映させてください。

### Ⅲ 令和2年度当初予算編成の流れ

